

お西さん

2006

3-4



「西別院鐘楼 除夜のライトアップ」写真・新川町 長谷川 哲也様

やがて春のお彼岸も間近かという季節になりましたが、北の大地の寒さはまだまだ続くようです。特に今年は全国的に降雪量が多く、寒さも厳しかったですから暖かな春の到来が待たれます。それでこそ長くて寒い冬を耐えぬいたあとの、花という花が咲き競うあの輝く季節を迎える感動は格別だといえましょう。

私事ですが、元旦の修正会をお勤めし職員の方々と共にお正月を祝ったあと、自坊での正月を勤めるべく福井へ戻ったのですがその後体調を崩しまして、はからずもひと月余りの療養を余儀なくされました。

別院はもとよりご門徒の皆様さんにも多大な御迷惑をおかけしましたこと申し訳なく思います。年齢的にも体力的にも明日の命ということを考えざるを得ない状態ではありますが、また、もうしばらく娑婆の縁をいただきます。

大病を患って十年が経ち

ました。あれから十年もの尊い命を賜っていながら、ではもうこれで充分かというとなかなかそうではない自分があるわけです。ますますご本願をお聞かせいただくことの大切さを思うことでもあります。

健康が第一というのは、ただいた命を大事に生きるという意味においても尊いことですし、健康に生きるほどすばらしい人生はありませんが、あまり健康第二にとらわれるとひとたび健康でなくなつた場合、それでも値打ちがないという考えにつながりかねません。たとえ健康でなくなつても、どんな状況になろうとも、あるがままの自分を受け入れて最後まで精一杯生きる。そこに仏法に出会えたよろこび、ありがたさがあるわけであります。命ある限り阿弥陀様のお徳をたたえつつ、今日一日をいとしんで日暮らしさせていただきたいと思うこととあります。

輪番 波多野 昭方

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

春季彼岸会

◆日時

三月十九日(日)

午後二時三十分より

台町出張所

三月二十日(月)

二十二日(水)

晨朝／朝七時より
速夜／昼二時三十分より

東川町 本院本堂にて

◆講師

大阪教区 南郡組 浄圓寺

永谷 孝昭氏

本院納骨堂及び台町墓地におきまして十八日(土)～二十二日(水)までおつとめを致します。

二十一日(火)は本院にて、ラムネとおだんごを用意致しますのでどうぞご利用下さい。

布教使さん紹介

三月二十日(月)～二十二日(水)



大阪教区 南郡組 浄圓寺

永谷 孝昭氏

『お彼岸を目前にして』

お正月が過ぎたと思ったら、もう春のお彼岸が間近となりました。

昨年未より異常気象ともいえるべき大雪が各地で被害を問わす、政治・経済思想界といった社会の状況に、思いもかけないことが続々と起こっております。生きるに欠かせない食の安全すら叫ばれ、ITによる練炭自殺等々、私達の日常性を揺るがす出来事が連日報せられています。通常普段は平穏な日々が続いて、ある日突如として大きな出来事が起こるものだと考えていたことが、出来事そのものが、もはや日常化してしまっている所に、異常なまでの問題の根深さを覚えざるを得ません。平穩無事と思っている日常の背景に、様々な出来事が既に進行し準備されていたのだと知らされます。大変な世の中になったものだと考えさせられます。

法然聖人が「厭離穢土、欣求浄土」と申されたお言葉が今更に身につまされます。

この世というべし、浄土を願うべしと呼ばれる聖人の目線は彼岸からの呼びかけに呼応されたものでしょう。それに対し、此の岸は苦惱に呻吟する不安定極まりない世界であるようです。ですから、現今では彼岸も此岸も見えにくくなっているようです。迷いの自覚がないと自分の立っている場所が解らない。此の岸が見えないから彼岸は見えなくなっている。

しかし、自分の努力や力で生きていこうと思っていた世界が様々な事柄に出会って、そこで始めて自分一人で生きられないのが現実の娑婆世界であったと知らしめられる場合があります。大勢の人々によって生かされていた自分を知った時、そこに展開されている広い世界に人は自然と頭を垂れるに違いありません。お彼岸を目前にそんな想いをしておられます。

えっ、これが仏教語？

◆億劫「おっくう」

気が進まず面倒なこと。面倒に感じられる様。

何か面倒な仕事をしなければならぬ時、「億劫だな」と言いますよ。しかし、よく考えてみると人間にできることは、目の前にあるたったひとつのことです。手を動かす、足を運ぶ、耳で聞く、眼で見る。オックウと感じてるのは「思い」で

のこと。無限に長い時間。永遠」という意味です。それが現代では、「気が進まず面倒なこと。面倒に感じられるさま」に使われています。

現代社会では、予定の入っていない日がないくらい忙しい。日曜日すら予定が入っています。まったく生きることも全体がオックウな時代になりました。「洗濯もしなきゃ、銀行へもいかなきゃ、買い物して、次に郵便局に……」と考えるとオックウだなあと感じます。たくさんの仕事を前にして

人間はオックウだと感じます。

しかし、よく考えてみると人間にできることは、目の前にあるたったひとつのことです。手を動かす、足を運ぶ、耳で聞く、眼で見る。オックウと

感じてるのは「思い」で

のこと。無限に長い時間。永遠」という意味です。

それが現代では、「気が進まず面倒なこと。面倒に感じられるさま」に使

われています。

現代社会では、予定の入っていない日がないくらい忙しい。日曜日すら

予定が入っています。まったく生きることも全体がオックウな時代になりました。

「洗濯もしなきゃ、銀行へもいかなきゃ、買い物して、次に郵便局に……」と考えるとオックウ

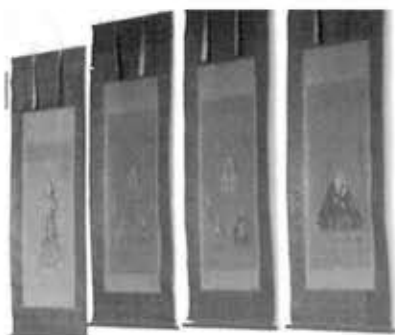
だなあと感じます。たくさんの仕事を前にして

北海道開教史特別講演会

「明如上人と 函館別院」

一月二十九日、予想を上回る二十五人以上の方が聞きに来られました。この講演会開催のきっかけは約一年前に遡ります。北海道で浄土真宗の教えが伝えられた歴史をまとめられた「北海道開教史」が現在製作されており、今回の御講師の早島有毅先生が函館別院へその調査にお越しになられた時に、保管されていたある四

幅の掛軸を調べられ、それらの大きな意義に気づかれたのです。その掛軸とは、日本に正しく仏教を伝えて下さった聖徳太子（写真右一幅）と阿弥陀如来の教えを伝えて下さった七人の高僧（写真左三幅）です。これらは、当時の御門主であり北海道開教に力を注がれた明如上人より約百二十年も前に授与されたものでしたが、この四福という様式は何と京都の本山と同じであり、この様式で授与されたということとは、それほど函館別院が北海道開教において明如上人から非常に重要視されていた証拠だったのです。長い年月



が経つ内に傷みと汚れがひどくなり、現在は本堂では掛けられずしまつてあったこの四幅の掛軸、それらには私たち職員も知らなかった大きな意味があったのでした。

今回の講演で、この掛軸の意義と共に、北海道開教と函館別院の成り立ちの歴史もお話いただきました。戦国時代末期の交易から始まり、松前藩の禁止令の時代の中で開墾と願乗寺川工事を通して寺院設立の許可を得たこと、



平田

そして函館別院を中心としての開教、教えが伝えられた今日に至るまでの先人の苦勞と熱意を学ぶことができました。講演会終了後、お越しの方々が四幅の掛軸の間近へと集まられて興味深そうにご覧になる光景に、いいお話を聞けた喜びを改めて噛みしめられました。

歴史を知るといふことは、今あることのすばらしさを感じ、これからをどう歩むべきかを考えるということ。この教えに出遇えた有り難さと、教えの中で生きていく確かさを、開教の歴史から伝えられました。



東川町にお住まいの遠見さんのお宅には今年で十二歳になる「ポメラニア」のチャチャがいます。チャチャは体重八キロ！普通のポメラニアンの平均体重が一・五キロです。丸々としていて、とってもかわいいのです。

今月のわんこ

チャチャ



近所の人には「タヌキ」と言われるそうですが、お参りに行きますと必ず一緒

に仏間でお勤めをし、二通りお寺さんと遊んでからおやつをもらう人なつっこい犬なのです。好物は肉系とアンコ。散歩も大好きですが最近では途中でばててしまうチャチャなのでした。高倉

お墓の由来

日本人の庶民がお墓を作りはじめたのは、江戸時代中期といわれます。そして、「お墓を競い合う」というのは、ごく最近の商業主義であり、仏教や浄土真宗の教えとは関係がありません。

昔は、煮炊きや、灯りに火を使っており、また、木と紙で作られた家は簡単に燃えてしまいました。そして、家にある書類や過去帳など、紙に記録したものはことごとく消失したのです。そこで、先人は危機管理の一つとして、「先祖の俗名や法名」、「先祖の命日」などを不変

的な石に刻んだのがお墓の由来でありましょう。

また、昔は人が亡くなると、そのご遺体を棺桶に納めて、地面に穴を掘り、地下へ埋葬していました。しかし、地下の棺桶は、いづれ腐り、地面が陥没して、人や家畜が落ちる危険がありました。そこで、棺桶を地下へ埋めた目印として、大きな石を地面の上に置いたのもお墓の由来でありましょう。



お墓にまつわる誤解

建立時期や墓相など、お墓にまつわる様々な「迷信」や「誤解」がありますが、

根拠のないそのようなことを一切気にする必要はありません。

また、お墓にまつわる「霊」や「魂」などといわれるものは、「強いもの」や「知らないもの」に対して、一途に信じ、従ってしまう、「人間のモロさと、愚かさから創造されたもの」と言えます。

墓相の決まり通りにお墓を建立したり、お墓を修復すれば、「幸せになれる」とか、「病気が治る」とか、「長生きできる」などと言う保証は、どこにもありません。このようなことが、お墓を建立や修復することで、解決するのであれば、人間に「苦勞」と言うものが無くなる筈です。

お墓についてわからないことは、お寺さんに正しい教えをうかがい、くれぐれも世間の迷信などに騙されないように気を

付けてください。

今日、お墓を先祖供養、祈願成就(無病息災、家内安全)の対象としてとらえ、それを疑わない風潮が一般的ですが、これらも「仏教」や「浄土真宗」の教義ではありません。

また、お墓を作ることは、一見美德に思えますが、後世に管理責任を押しつけることにもなります。それは、古墳や、ピラミッドなどを見ればわかるとおり、「誰かがお墓を維持管理してくれるだろう」と期待すると裏切られてしまうと言えるでしょう。ただ、感情として、「遺骨に対しての思いが深くある」ということも事実ですし、現実の問題として死後に遺骸が残り、火葬後も遺骨が残りますので、それを「土」にお戻しするための「法律上、宗教上の施設」としてのお墓が必要である」ということも事実です。

浄土真宗の教義に即したお墓

浄土真宗の教えに即したお墓とは、「先祖を祀る(遺骨を拜む)」という意味の「お墓」ではありません。

お墓を作るのであれば、まず、生活の中心に浄土真宗の信心をいたし、次に、浄土真宗の教義に即したお墓の形を整えることが必要となります。信心がないと、形も整わないし、整っても形だけで終わる結果になります。

そして、立派なお墓を持つことよりも、河原の石でできたお墓でも、しっかりと浄土真宗の信心をいただくことの方が重要です。浄土真宗の救いも信心にあるのですから。

佛事の 特集 お墓

礼拝の対象は？

あくまでも、礼拝の対象は「遺骨」や「先祖」ではなく、「お名号」です。ですから、墓石の正面には『南無阿弥陀仏』と刻みましよう。



浄土真宗のお墓には、遺骨や先祖のためではなく、阿弥陀如来さまに感謝の気持ち捧げることが必要であり、それゆえに、浄土真宗のお墓の正面には、「〇〇家之墓」や「先祖代々之墓」などではなく、「南無阿弥陀仏」と刻まれているのです。

京都へ分骨？

「京都へ納骨した…」などと聞きますが、何のことですか？そんなおたずねをいただくことがあります。

「京都へ納骨」とは、大谷本廟（おおたに・ほんびよう）に納骨（分骨）することです。ここでは、その大谷本廟についてご案内します。

● 大谷本廟

（おおたに・ほんびよう）

大谷本廟は、私たち浄土真宗の宗祖親鸞聖人のご廟所（墓所）です。京都東山五条に位置し、通称を「西大谷」ともいいます。ここが本願寺の起源とされています。

※これに対して、「東大谷」とは大谷派（東本願寺）の大谷祖廟（東山区円山公園南）を言います。



大谷本廟 明著堂

親鸞聖人を慕う門信徒にとって、その由緒に基づき、納骨・永代経・墓参などをご縁としておみのりを聴聞する場となっています。

大谷本廟への 納骨について！

● 無量寿堂納骨

（むりようじゆどう）

寺院・団体・個人名義で、区画をもつことのできる大谷本廟内にある納骨堂（無量寿堂）への納骨。函館別院も、ここに納骨堂を有し、別院にご縁のある方なら、納骨（分骨）できます。個人で納骨堂を持たれているご門徒さんもいらっしゃいます。



● 祖壇納骨

親鸞聖人の墓所（明著堂の祖壇）への納骨。この場合、一旦納骨されたお骨は出骨することができません。

大谷本廟 無量寿堂



大谷本廟分骨の 意義

意義

浄土真宗のご門徒は親鸞聖人を慕い、各家のお墓とは別に、遺骨の一部を大谷本廟に納めることがあります。これは、京都に分骨することにより、私たちとご本山とのご縁を深め、お念仏のみ教えとの出会いの機会が増えることとなります。

ご門主様ご臨席

第5回 第1連区(東日本)

仏教壮年研修大会

第9回

全道仏教壮年 研修大会

テーマ

「いまをどう生きるか」
〜見つめよう、いのちの尊さを〜

期日

平成十八年
五月二十七日(土)〜二十八日(日)

講師

浄土真宗本願寺派 勸学

梯 實圓氏

講題

「やさしい真宗入門」

会場

教化センター札幌別院
札幌市中央区北三条西十九丁目二の一

参加費

一三、〇〇〇円

お申込みは、三月二十四日(金)までに
西別院までご連絡下さい。

西別院 ☎(0138)2310647

「おかみそり」を 受けてみませんか？

「帰敬式」実施について

帰敬式とは、阿弥陀さまと親鸞聖人の御前で浄土真宗のみ教えの中に生きていくことを誓う儀式をいいます。この式の中では「三帰依文」を唱え、「おかみそり」を受け、御法名をいただきます。通常は京都の御本山にて勤められますが、この度は



■期日

平成十八年
五月二十七日(土)

■会場

教化センター札幌別院二階本堂

■冥加金

一〇、〇〇〇円

申込み・問合せは、三月二十四日までに
西別院までご連絡下さい。

行く人

岸井 顕珠



人との別れは大変寂しいものです。この度、三月末日をもって退職させていただきます。二年後の平成二十年の九月に函館で三度目の個展を開催時を、思う存分絵を描いてみたいという夢に挑戦してみようと思えます。沖繩の石垣島あたりで南国の魚や花を描きたいと思えます。

皆様には、わが子のように、孫のようにお育ていただいた日をもつて退職させていただきます。誠に感謝いたします。二年後の平成二十年の九月に函館で三度目の個展を開催時を、思う存分絵を描いてみたいという夢に挑戦してみようと思えます。沖繩の石垣島あたりで南国の魚や花を描きたいと思えます。お元気です！

ようこそ常例布教へ

◆三月十二日(日)～十六日(木)
午後二時三十分

東海教区 中勢組 専念寺

加藤 幸子氏

◆四月十二日(水)～十六日(日)
午後二時三十分

東北教区 岩手組 浄泉寺

山崎 教真氏

お悔やみ申し上げます

永代経懇志ありがとうございました

ちよんとうらなさま

ご門徒さんから頂いた作品を紹介させて頂きます。

早春の野山に馳せる 心かな

東川町 山口昭平さん

雪簾透かして見えし 冬の月

美原町 三ツ谷重次さん

み仏に抱かれ生くる

我が身かな

大縄町 大辻子信隆さん

皆さんも俳句、短歌、漫画などお寄せ下さい。
採用の方には、記念品を贈呈致します。

あて先 函館市東川町十二の十一

本願寺函館別院内 お西さん担当係迄

テレフォン法話順番表

- 2月26日(日)～3月 4日(土)…永 江(承)
- 3月 4日(日)～3月11日(土)…西 村(承)
- 3月12日(日)～3月18日(土)…富 永(承)
- 3月19日(日)～3月25日(土)…常例布教使
- 3月26日(日)～4月 1日(土)…彼岸会講師
- 4月 2日(日)～4月 8日(土)…波野野(輪)
- 4月 9日(日)～4月15日(土)…神 田(副)
- 4月16日(日)～4月22日(土)…脇 坂(副)
- 4月23日(日)～4月29日(土)…常例布教使
- 4月30日(日)～5月 6日(土)…吉 村(参)

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

☎ 0138 27局 2424番

お便り大募集

仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。「お西さん」にて、お答えしますので、編集部迄お手紙でお寄せ下さい。

表紙大募集

趣味の絵や写真で表紙を飾りませんか？アマチュア・セミプロ・自薦・他薦は問いません。編集部までご連絡下さい。



あて先 函館市東川町十二の十一 本願寺函館別院内
お西さん担当係迄
0138 23 0647

編集後記

▼きれいだった雪景色も、雪山も、泥山に、水溜まりが…。少しづつ暖かくなってきたのですね、春ですね。積もったら積もったで文句をいい、融けたら融けたで、また文句。勝手なものです、我がこころ。 脇坂

▼事務員さんに「布袍が「つっぱね」で汚れていますよ」と言われ。ん？とわからない私。方言なんですな。

永江

学校法人

龍谷幼稚園だより

こどものつばき

● おすもう

毎日のおすもう大会が大ブームの大きい組。決まり手の研究を欠かさず、特訓にはげむ両クラス。そんなある日……
Nちゃん「先生!! パパに技、教えてもらった!!」
M先生「えら〜い!! 何ていう技?」
Nちゃん「あのね。ネコだまし!!」
M先生「どんな風にやるの?」
(顔の前でパチンツ!! てやるんだよ!!)
という答えを期待するM先生。
Nちゃん「覚えてるよ!! ニャ〜オって言うの!」
とてれながら話すNちゃんに、かわいらしさを感じつつ、大爆笑のM先生でした。



● バスにて

Tくん「Hくんがそう言ったんでしょ!?!」
Hくん「そんなこといってないよ!!」
と、陰険ムードで言い合いをしている2人。
Hくん「しつこいなあ!! そっちが言ったんだろ!!」
(そろそろ私の出番かな?)と構えるT先生。
Tくん「な〜に、かんしゃく起こすんでなあ〜いって」と年寄り口調のTくん。
Hくん「??? まいっか!!」と不思議なやり取りに助言を忘れるT先生でした。



● 書き初め

躍動感あふれるタッチで、伸び伸びと「おに」という字を書いていく子供たち。「よ〜し!! 先生もみんなに負けずに、もう一度書いてみよう!!」とT先生。はりきって大胆なタッチで気分よく書いていると…… ヒソヒソと……
子1「なんか、「お」の字大きすぎだよな!!」
子2「うん、「に」なんかはみだしそうだよ」
子1「結局、見本の字の方がいいんじゃない?(笑)」
子2「そうだね。(笑)」
気をつかって小声で話す心遣いに、さらに自信喪失するT先生でした。



預かり保育 ご案内

さんさん
燦燦
クラブ

- お仕事をしているお母さんのために。
- 用事でしばらくみて欲しい人のために。
- 幼稚園の保育がすんだあと夕方6時30分までお預かりします。

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日/夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい。

平成
18年度

園児募集

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を伝える宗教教育、それが **龍谷幼稚園** です。

願書受付中

龍谷幼稚園 ☎23-0274